



不妊手術を待つ野良猫を管理する「宮崎ねこの会」のメンバーら=2月、国富町

野良猫2000匹 不妊去勢手術

公益財団法人「ぐるぶつ基金」(兵庫県芦屋市)と市民団体「宮崎ねこの会」(事務局・宮崎市)は今年度、県内で2千匹超の野良猫の不妊去勢手術に乗り出す。基金が獣医師を派遣し、手術費用を助成。同会が野良猫の捕獲や運搬などの実務を担い、毎月200匹の手術をめざす。

猫の繁殖力は強く、野良猫を放置すれば瞬く間に増殖する。保健所で殺処分される場合もある。

どうぶつ基金は、野良猫の繁殖を抑えるため、捕獲(Trap)し、不妊去勢手術(Neuter)をし、元の場所に戻す(Return)

「TNR活動」を全国で進めている。「TNRで数が減るのは統計上明らか。少しでも早く取り組んだ方がいい」としている。

手術をした猫には、耳先にV字の切り込みを入れ、

(佐藤修史)

が多い②TNRのボランティアの態勢が整っている③協力する動物病院が少ないなどの状況から、宮崎、大阪、福岡を選定した。3府県で計7200匹の手術をめざす。

手術の拠点は、国富町に新設された「どうぶつ基金病院」。獣医師は常駐せず、月に4日ほど、県外から出張手術に来る。前日に捕獲された猫を一斉に手術する。

山本清美代表は「野良猫が増え、住民の苦情が出る前に手術をするのが大事。無料で多くの猫に手術ができるのはありがたい。会員同士で協力して目標を達成したい」と話している。

山本清美代表は「野良猫

「神の手」全国飛び回り年5000匹手術

どうぶつ基金のプロジェクトで野良猫の手術を担う獣医師は山口武雄さん(33)。神奈川県を拠点に全国を飛び回り、年に5千匹の野良猫の不妊去勢手術をしている。

手術は素早く、安価で、宮崎ねこの会の代表、山本さんは「TNRの神様」と呼ぶ。

三十数年前、首都圏の動物愛護団体の求めで出張手術を始めた。高原町のNPO法人「咲桃虎」など県内の団体とも連携し、TNR活動を支えてきた。

出張先では早朝から手術台に向かい、熟練の「神の手」でメスや糸を流れるように操る。雄なら2分、雌でも10分の早業。多い日には100匹超を手がける。

獣医師・山口武雄さん



野良猫の不妊手術をする獣医師の山口武雄さん=国富町

される手術代を3500円で引き受けた。山口さんは「ボランティアの熱意に応えようと、手術代を極限まで下げた」という。アこそ「神」。彼らは頑張れば張るほど足が出る。私は手術すればするほど儲かってしまう」。ボ

ランティアの熱意に応えようと、手術代を極限まで下げたといつ。離島にも海外にも出向いてきた。雲仙普賢岳噴火、阪神大震災、東日本大震災などの被災地に入り、猫の救援活動もした。「殺処分ゼロに向け、頼まれた仕事を極力断らないことにしていま

た。宮崎ねこの会は昨春に発足し、これまでに1千匹超の手術をしてきた。会員数は500人を超すが、TNRに参加できるのは20人程度という。今回のプロジェクトの目標数は、昨年度の実績のほぼ倍にあたる。

宮崎ねこの会は昨春に発